

カリキュラム

機構施設名：鳥取職業能力開発促進センター

実施機関名：株式会社パワートレイン

(C)IT倫理	コンプライアンス	ネット炎上とSNSの危険性
----------------	-----------------	----------------------

到達目標	ネット炎上が企業及び従業員に与える損害や被害に関する事例をとおしてSNSの利用方法に潜む危険性を理解する。
-------------	---

	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
指導内容	1	ネット炎上と企業のダメージ (1)ネット炎上の実例 近年の事例とその経過や対応を紹介する。企業活動そのものが原因となったものや従業員の行動が原因となったもの、また直接的な関係が無くとも炎上が発生するケースなどの分類について説明する。 (2)企業に与える具体的な被害 業種別パターンと実例検証。自社に置き換えた時にどの程度の被害が出るのかをイメージさせることで、適切な対応と事前予防の重要性を認識させる。 (3)ネット炎上のメカニズム 事例を題材として、どのような心理が作用してネット炎上が発生するかを紹介する。また、炎上の発生源となり得る顧客とのコミュニケーションの重要性を認識させる。	2.0
	2	SNSの危険性 (1)現代におけるSNSの概況 各種SNSの特徴やユーザー層など、SNSの概況について解説。SNS上でどのようなコミュニケーションが行われているかを知り、情報が拡散していくプロセスを理解する。 (2)SNSによる情報漏えい、風評被害とその対策【演習あり】 従業員のSNSによる情報漏えいや風評被害の実例について紹介し、それらに対する対策や社内ガイドラインの策定方法を解説する。また、実際に自社における運用ガイドラインの素案を作成する。 (3)SNS活用における注意点【演習あり】 社内での自社ビジネスにおいてSNSを活用した消費者や顧客とのコミュニケーションをする際の注意点を説明し、コミュニケーションプランの策定と運用に際しての規定を設定する方法を解説する。	4.0
合計時間			6.0

カリキュラム作成のポイント
SNSの炎上はニュースでも毎日のように取り上げられている社会的な問題です。しかし「自分は大丈夫、自分には関係ない」というように自分ごととして捉えている人が少ないという現状もあります。このカリキュラムでは、炎上が発生するメカニズム、自分自身もいつ当事者になってもおかしくないという現状についてリアルにお伝えすることを主眼とし、演習も交えながら「自分ごととして」実感頂けるよう工夫しています。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●用意する機器・ソフトウェア(講師用・その他) ・PC(講師用)、プロジェクタ、スクリーン、ホワイトボード ・OS(windows 10) ・アプリケーション(Power Point)
●使用するテキスト ・自作テキスト	●その他

利用事業主に用意を求める機器等	備考
・プロジェクタ ・スクリーン ・ホワイトボード ・マーカー(赤・黒)	